

総務産業建設常任委員会 活動報告

12月定例会

所管各課における事業の進捗状況の調査を行った。

○総務部門

12月10日（火）開催

経営戦略課（行財政改革推進室）

経常収支比率が前年度より改善された要因について、法人税と地方交付税増額によるとの答弁があった。

各種会議議事録のホームページ記載内容を統一化すべきとの議論があり、現在統一化されていないため、今後協議していく。

税務課

徴税訪問対象者の所得階層の分析について質疑がされた。

町県民税延滞金の大幅増の要因については、大口滞納者

の一括納付によるとの答弁があった。

みらい創生課（ランドデザイン推進室）

湖東定住自立圏の全体としてのメリット・デメリットについては、市町の行政圏を越えた計画であり、事務負担の軽減等スケールメリットがある。デメリットとしては、細部調整に時間を要するとの答弁があった。

まちづくり協働課

まると活性化プランの策定に対する集落支援の状況について、それぞれの自治会に合うプランとなるよう支援を行う予定であるとの回答を得た。

自治基本条例推進委員会の開催状況について、質疑があった。

くらし安全環境課

防災機器更新の進捗状況については、出力の高い機器更新を予定しているとの答弁があった。

人権政策課・地域総合センター

部落差別解消推進法の基づく調査の実施について質疑があった。

○産業建設部門

12月11日（水）開催

農林商工課（観光物産推進室）

有害鳥獣対策の電気柵は地元管理であるが、通電していない箇所について、行政からの指導状況について、質疑がされた。

近江上布発信業務委託料1,000万円の内訳について、国内外発信費用、あいしよアサコ・アサマル企画、イベント開催費用・広告費用、事務費等であるとの回答があった。

観光物産振興計画策定委員会での討議内容については、4回開催し、①自然資源②伝統工芸③歴史文化風習がキーワードとなっており、3月中旬に策定予定との回答があった。

観光協会合併の課題と進捗状況については、湖東三山館については、指定管理者を公募中であり、別途協議となる。現在、体制・役員・事務所・職員・今後の事業展開について議論いただいている状況である。



湖東三山館あいしよ

ふれあい本陣の事業目的は、中山道活性化の土台づくりである。街道の活性化について進んでいないとの意見が出された。

建設・下水道課

スマートインター出口道路に右折だまりがなく、将来的にまっすぐな町道整備について、提案があった。

下水道の減価償却は定額と定率のどちらの適用であるかの質疑があり、定額との回答を得た。

教育民生常任委員会 活動報告

12月定例会

当常任委員会が所管する民生部門・教育部門の事業進捗状況について調査した。

主な議論は次のとおり。

○民生部門

12月12日（木）開催

住民課

国保加入者の人間ドック受診率が低い。原因として、補助率が低い・受付期間が短いことが考えられるとの意見に対し、今後検討するとの答弁があった。

町の人口が4月末に比べ89名減少している。転出原因をデータ化することによって、町の政策を考える取組みが必要である。

健康推進課

発達支援事業は概ね18歳までの子供を対象に実施されているが、大人の発達障害が問題である。社会的にも8050問題として取り上げられているが、町内の実態把握や相談体制は出来ているのかの問いに対し、相談がたらい回しにならないよう関係課の連携・情報の共有化を図っているとの回答があった。

保健師の退職・育休などで、人員不足が起こっており、事業に支障が生じている。町長に対して、「町民の健康をしっかりと守る」ため人員の確保・専門職としての仕事の見直しを求めた。

福祉課

民生児童委員の改選が12月1日付で行われた。3分の2の委員が入れ替わった。2地区において欠員。民生児童委

子ども支援課

員の活動範囲が広すぎ大きな負担になっているのではないかの問いに対し、現在、あり方検討委員会でも業務内容の見直しを行っているとの答弁があった。

保育料の無償化による影響はどの問いに対し、幼稚園から保育所に行く流れが出てきているとの回答があった。待機児童については、来年度の申し込みにおいて、現在では定数オーバーとなっているが、4月時点では解消できるよう調整中。

町内5学童保育所については、全国的に事業展開している業者に4月から指定管理する。子どもの貧困対策については、「子ども・子育て支援事業計画」において施策を定める。主な重点施策は、

- ・生活困窮世帯の子どもへの学習支援
- ・生活困窮者の自立支援
- ・子どもの貧困対策についての周知・啓発

○教育部門

12月13日（金）開催

教育振興課

不登校の児童生徒が多い。学校任せではなく教育委員会として実態は把握しているかの問いに対し、子ども・保護者からの待ちの姿勢ではなく、日記・行動・言葉・相談などからおかしいという感覚を身に付けるようにしている。

愛荘町の学力学習調査結果が発表されたが反応はあるかの問いに対し、非常に大きなことであるが反応は鈍い。子どもの学習について保護者ももっと関心を持つこと、家庭学習の重要性を知ってほしいとの回答があった。

読書の関心を高めるため、読み聞かせボランティア活動が大切との問いに対し、学校・園との関係において方向性を検討するとの回答があった。

小中学校に町費における嘱託職員・短期職員が約40名配置されており、学校運営に大きな役割を担っている。今後さらに充実するように努めてほしい。

生涯学習課

滋賀国体が2024年に実施される。6月の常任委員会でも取り上げたが、当町で開催されるアーチェリー競技の盛り上がりがない。積極的にPRすべきである。

歴史文化博物館

依智秦氏の里古墳公園について、事業が伴わない維持管理だけであれば、指定管理でなく委託でよいのではないかの問いに対し、検討するとの答弁があった。



教育民生常任委員会